

Lesson 4

A Dog in a Barbershop

CD I-36



CD I-37

▶ 本文を聞く/音読練習/補充問題

① There used to be a barbershop at that corner.
以前あそこの角に散髪屋さんがあった。
 ② I would often go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It must have been very shy, or it may just have been happy to see us.
私は兄とよくそこへ行ったものだ。そこには1匹の老犬がいた。 私たちが店に行くと、そのイヌはいつも大きな声でほえた。 それはとても怖がりだったにちがいない。あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。

① 以前～があった

② よく～したものだ

⑤ ～だったにちがいない／

～ただただかもしれない

(1) What used to be at the corner?

以前は、角のところに何がありましたか。

(2) What does the writer think about the dog's reaction?

筆者はそのイヌの反応について、どう考えていますか。

CD I-38,39

Listen and Answer

*The writer of the passage is a boy.
 *文章の筆者は男子です。

- (1) A barbershop / There used to be a barbershop there.
散髪屋さんです[そこには散髪屋さんがありました].
- (2) He thinks it must have been very shy, or may just have been happy to see them.
そのイヌはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、自分たちに会えてうれしかっただけかもしれない、と考えています。

Read Aloud

▶ Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p.8)

ペアで活動しなさい。 互いの読みを評価しなさい。

① Fluency <small>流ちょうさ</small>	② Pronunciation <small>発音</small>	③ Attitude <small>態度</small>	Total <small>合計</small>

Tips for Expression

- ① 現在と対比して客観的に「以前は～だった」という場合は〈used to ～〉で表します(→①)。また、過去のことを思い起こして主観的に「～したものだ」という場合は〈would ～〉で表します(→②)。would often[sometimes] ～ の形もよく見られます。
- ② 過去のことについて、現在の時点で「～だった[した]にちがいない／～だった[した]かもしれない」と推量する場合は、〈must/may+have+過去分詞〉の形を用います(→⑤)。そのほか、〈should/can't+have+過去分詞〉「～すべきだったのに／～だった[した]はずがない」にも注意しよう。

CD I-40

Let's Check It!

4 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Emily (used) (to) (have) long hair. [以前は髪が長かった]
以前エミリーは髪が長かった。
- (2) We (would) often (catch) cicadas around here. [よく捕まえたものだ]
私たちはこの辺でよくセミを捕まえたものだ。
- (3) Tom has arrived early. He (must) (have) (come) here by taxi. [タクシーで来たにちがいない]
トムは早く着いた。 彼はタクシーで来たにちがいない。
- (4) I know this story. I (may) (have) (seen [watched]) it on TV. [テレビで見たかもしれない]
この話は知っている。 テレビで見たかもしれない。
- (5) The movie has already begun. I (should) (have) (checked) the time. [確認しておくべきだった]
映画はもう始まってしまった。 時間を確認しておくべきだった。